

人生景観  
この人に聞く

20

華道家

# 笹島英湖

〔ささじま・えいこ〕草月流華道家・『Atelier J plus』主宰。東郷学園在学中より、

草月流3代目家元 勅使河原宏氏に師事。ホテルなどのエントランスディスプレイや各種イベント装花、空間プロデュースを担当。他の分野とのコラボレーションも積極的に手がける。

昨年は、書家 川又南岳氏とコラボレーション、「わくわくテレビ! NHKランド」のお花のデモンストレーション、等を行なう。

『新進気鋭のフラワーアーティストの花と造形』（草土出版）にその活躍が掲載。

また、『Atelier J plus』を主宰し、趣味からプロまでの華道教室、書道教室、陶芸教室を行なっている。

【アトリエ ジェイ プラス】水戸市見川2-44-23 TEL.090(1615)1542 <http://atelierjplus.com/>

草月流は華道の中でも唯一、教科書がある流派です。出したいラインを出す技術や、美しい間のとり方、色、形、ラインの基本。花が止まるところに止めるのではなく、止めたところから止める。そんな自由に花をいける為の技術を、最初教科書を使い学び、そこから自分の好きに花をいけていきます。カリキュラムもありますが、お花のお稽古というのは、繰り返し学ぶことで得られるものがあり、これをやったら終わりというものでもありません。求める限り一生、自分の花を目指していく。感性や教養、生きる姿勢も全て自分の実となり花となって表現されていくのです。



私の華道との出会いは、大学卒業後に入学した東郷学園での授業です。東郷学園は東京原宿の東郷神社隣にあつた国際社会で通用する女性を育てる事をコンセプトにした学園。一流の講師陣から、料理、茶道、華道などを総合的に学ぶのですが、そこで草月流3代目家元、故勅使河原宏氏に直接指導を受ける機会を得たわけです。

数ある授業の中で、草月流の華道に惹かれた理由は、花は自分を表現するもの、花は場にいけるもの、という、草月流の教えです。人が花をいけるの



# 人が花をいけるのではなく、 花で人をいける 花で、自分を活かすのです

ではなく、花で人をいける。決まった型ではなく、自由に表現する。もう一つは、床の間や展覧会など、こういう空間に花をいけるべき、というのではなく、自由な空間や見てくださる人に合う花をいけるということ。花でその空間を活かし、自分を活かすのです。

勅使河原先生が素晴らしい方だった、というのも理由の大きな部分です。先生は華道のみならず、前衛芸術など様々な芸術に精通し、映画監督としてもカンヌ映画祭をはじめ国内外で評価される等、幅広いフィールドで活躍され、広い視野のもと花を捉えていた方でした。私もいろいろな経験をさせていただきました。山に行つて、好きな花を切ってきて、どこで何をしてもいいよとか、海外でのデモストレーションにお供させていただいたり…。勅使河原先生が竹という素材を見つけられ世界各国で活躍されたように、型に囚われることなく、自分の素材・自分の表現を見つけ、自分の花に近づいていくんです。それは人と比べることではなく、一生続く自分との対話です。時間をかけて自分を高めていく。そういう風にして育つていくのが、文化というものだとも思うんです。怖さもありますよ。花で自分を表現することは、逆に言えば花に私の人間性やその時の精神状態、教養な



(写真上) パーティー会場ディスプレイ  
(写真下) いけばなデモンストレーション



ど全てが出てしまうということ。だから満足した作品つてないんです。いけている時は無心なのですが、終わってから冷静に見ると、自分の至らない部分が見えてしまう。ああ、ダメだなつて(笑)プロの華道家は一生が自分との戦い、それが花を見つけていく道なんです。

私は幸運なタイミングで、勅使河原宏氏の直接指導を受けることができ、「英湖」という名前まで頂きました。学園卒業後も、草月流の本部の先生に学び、30歳ごろには自分でも教えたり、依頼されて花をいける仕事などをするようになっていました。

今は、東京と水戸を半分半分くらいで行き来して、お仕事をしています。以前からも水戸でお教室を持っていたのですが、私が主宰している「Atelier

「plus」で本格的に華道教室を持つようにもなりました。生徒さんは、2歳のお子さんから70代のご婦人まで、幅広いですよ。ご夫婦や親子、30代のご両親とお子さんなど、ご家族で一緒に習う方が多いのも私の教室の特徴です。普通はお一人で習われますから。幼いお子さんがいらつしやるお母さんも多く通われていますよ。生徒さんの赤ちゃんを、私が抱いて指導するんです。私は先生兼ベビーシッター(笑)。子育て中のママって孤独になりがちじゃないですか。皆さん華道に興味があつても、子育て中は自分は二の次にして、楽しむ事に罪悪感すら感じてしまう。そうじゃなくて、お母さんが幸せな事が家族にとって一番いいし、美しい花は子どもの情操教育にもなる。躊躇されるお母さんに、始めましょう、と言つとその場で泣き出す方も多い



**笹島英湖  
プロデュースイベント**

**五感が与える美と感動  
炎の連さ**

【日程】7月28日(日)

【場所】ホテル テラス ザ ガーデン水戸  
水戸市宮町1-7(水戸駅南口直結)

**【会場】シーブリーズ**

**ソムリエ『田崎真也』との饗宴!**

英湖の花と田崎真也のミニトーク後、コース料理に合わせたセレクトワインをお楽しみください。

【料金】18,000円(税・サ込・一般入場料込)

※シティクラブのイベント入場料も含まれています。

※事前予約制となります。

■第1ステージ 12時開場/12時30分~

■第2ステージ 17時開場/17時30分~

◎アルコールが召し上がれない方にも、お楽しみいただける田崎氏オリジナルスペシャルドリンクをご用意◎『川又南岳の書』と『小林政美の陶器』(非売品)をプレゼント◎陶芸家『小林政美』の器に花をいけるショー開催。

**【会場】シティクラブ 【時間】12時~21時**

軽いお食事をいただきながら、さまざまなパフォーマンスやディスプレイを観ることが出来ます。

※各種パフォーマンス12時30分~17時

展示12時~21時

【一般入場】3,000円(税込) 軽食+1ドリンク付

※チケットの事前のお求めをお願いいたします。

■書家『川又南岳』パフォーマンス&書展と花実演!

3.6m×4mの大きさに一筆の迫力の書と花。

開催時間/15時~15時30分

■陶芸家『小林政美』花との作品展

生土で花器を作り花を挿す、初のインスタレーション。

■『笹島英湖』withフラワーアーティストAIII.

Doingのショーと花の展覧会

草月流・花のパフォーマーが全国から集結。いけば

なのデモンストレーション&会場を花で演出。

■生演奏『Art Collaboration Special Sextet』

素敵な6人が奏でるタンゴやクラシック

小林萌里(ピアノ)・桜田悟(第一ヴァイオリン)・蓮

見佳奈(第二ヴァイオリン)・野中友多佳(ヴィオラ)

・芝崎純生(チェロ)・中村杏葉(コントラバス)

■他アトラクション

◎マーサ・キルティング・スタジオ『布の花』展

今井雅子と仲間達の明るく元気なキルトの巨大作

品展示が凄い!

◎アイアンアート『鯨 雄作』展示+花

鉄を使って作る不思議で魅力的なオリジナル作品展。

◎『水戸藩YOSAKOI連』のパワー溢れるパフォーマンス

◎女流書家『沙恵』書&花のインスタレーション

自由な若い発想と大胆な筆使いで、空間に優しく

言葉を紡ぐ、今、人気の書家。書道コンクールにて

農林水産大臣賞受賞。草月流師範。

◎オカリナ演奏 須藤真紀子と花のデモンストレーション

【お問合せ】

TEL.080-4107-3340(イベント事務局)

**【チケットのお求め】**

ホテル テラス ザ ガーデン水戸

3階フロントにて発売中

TEL.029-300-2500

**EIKO SASAJIMA**



んです。それほど、自分を抑えているのでしょね。私は生徒さんに、素の自分を出して表現してください、お花はそういうものですよ、と指導しています。すると気持ちが楽になるようで、生徒さんが自分の花を育てていく中で、ご自身も変化されていきます。しがらみから解放されて、自分を否定していたのが、私はこれでいいと思えるようになる。するとイキイキしてきたり、自分を楽しめるようになって…。楽しむ事は悪いことじゃなくて、それが自分の成長に繋がる事なんだって、花を通じて分かるんです。皆さん、教室に1カ月に1回とか2回来るのが、すごくリフレッシュになりますよって言うてください。ご夫婦でいらして、お稽古中だけはお出合った頃のように素の感じで向き合う。すごく幸せそうな

顔をされる方もいます。そんな生徒さん達の幸せや頑張り、成長に、私自身もエネルギーをもらっています。

◆◆◆

いけばなに会って私が得たものはとても大きくて、その中の一番は人だと思っています。勅使河原先生との出会い、生徒さんとの出会い、そして、数々のアーティストとの出会いがありました。コラボで花をいけると、プロとプロ、お互いの視点で花をいける場ができる。どんどん世界が広がっていくのは、凄く楽しいですね。

7月に企画したイベント『炎の連さ』もそのような出会いの中で始まりました。『花を持って想いをつなぐ』をテーマに、花と『墨・土・音食』のそれぞれのプロとのコラボレーションで作上げる『茨城の元氣と絆のアートなお祭

り』です。どのプロの方も素敵ですよ。食はフルコースにソムリエの田崎真也さんセレクトのワインとトークショー。お料理ごとにワインが出てくるんです。もちろん、私のデモンストレーションもあります。『後いけ』という技を行います。お客様を正面に、お花の背後から手をまわしていけていく様子をお見せするものです。

もともとは、地元の方々を元気にしたい、という考えで始まった企画です。自分達ができる最大限のおもてなし。熱い想いやエネルギーで、楽しさやパワーを持ち帰っていただきたい。

華道の持つ力、人との出会いやおもてなしの心、花を育てることで自分が育つ事、素の自分を表現する楽しさ、それらがもたらす幸せを、これからも伝えていきたい、そう考えています。